

KK²「共に考え、共に学ぶ」ボランティア「デジタル公民館まっさき」

平成 25 年度 7 月 活動

参加者：14名（学生1名、社会人9名、シニア4名）

活動場所：大船渡市末崎地区公民館（大船渡市末崎町）

ハネウエル居場所ハウス（大船渡市末崎町）

大船渡津波伝承館（大船渡市赤崎町）

宿泊場所：大船渡市末崎地区公民館

活動スケジュール：

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
7/12(金)												19:55集合 一ノ関駅 西口待合室	車移動 一ノ関駅～末崎	公民館 にて 宿泊	
															夜行バス 池袋23時発
7/13(土)	7:07バス盛着 7:30合流	M T G	準備	PC・ネット よろず相談	昼食	PC・ネットよろず相談	片付け 入浴	夕食 移動	まっさきに学ぶ！ ～あの日あのととき。暮らしづ くりまちづくり～	移動 MTG 宿泊					
			どこ竹リーダー育成 実技講座			良く飛ぶ 竹とんぼ教室									
			PC・ネットよろず相談【和室】、竹とんぼ教室【午前・午後：2F会議室、午後：体育館】									居場所ハウス	和室		
7/14(日)	朝食	MTG 準備	～繋がるう広げよう～ まっさきWebメール 学習会	昼食	片付け 移動	気仙に学ぶ！ ～さいとう製菓のあの 日あのととき、そして再 建への苦闘～	反省 会	車移動 末崎～一ノ関駅	解散	一ノ関駅					
			2F会議室			津波伝承館									

7/13(土)

① PC・ネットよろず相談 10:00～12:00、13:00～16:00

(来場 午前：大人11名・子供6名)

・パソコンやインターネットの使い方について個別対応を行った。

デジタルカメラで撮った写真のPCへの取り込みから印刷まで、ブログのカテゴリ分け、写真のスライドショー作成、Facebookの通知メール設定、パワーポイントの使い方、CD-Rの取り扱い、年賀状作成ソフトの使い方、メールの使い方、メール添付ファイルの取り扱いなど。



PC・ネットよろず相談



PC・ネットよろず相談



子供達と卓球で遊ぶボランティア参加者

② どこ竹リーダー育成実技講座 9:30~12:30

(受講4名(内ボランティアスタッフ1名)、ボランティアスタッフ講師2名、現地サポーター4名)

- ・竹とんぼ教室を開催できる現地の講師を育成することを目的とする実技講座を行った。主催は、どこ竹@武蔵野三鷹。本講座修了後、参加者は課題として一人で竹とんぼを作成しチェックを受けることで、どこ竹認定講師となる。



どこ竹リーダー育成実技講座



どこ竹リーダー育成実技講座



飛ばし方の指導

③ 良く飛ぶ竹とんぼ教室 14:00~16:00

(講師・講師サポーター(現地・ボランティアスタッフ)8名/子供来場者6名)

- ・子供たちを対象とした竹とんぼ教室を開催した。午前の講師育成の実技講座を経験した現地リーダー候補には竹とんぼ講師サポーターとして、実際の竹とんぼ教室の運営に参加してもらうことで、竹とんぼ講師の体験をして頂いた。



良く飛ぶ竹とんぼ教室



体育館で飛ばし競争



体育館で飛ばし競争

④ 『まっさきに学ぶ!』(場所:ハネウェル居場所ハウス) 19:00~21:00

(ボランティアスタッフ参加者14名・その他参加者8名・現地講師2名)

- ・2013年6月に開所したハネウェル居場所ハウスにて、NPO法人居場所創造プロジェクトや末崎の高齢者ケアに取り組んでいるリーダーの熊谷君子さんをお招きして、その活動を伺った。震災を乗り越えて、新しいまちづくり・地域づくりについてお話を伺い、意見交換を行った。



「まっさきに学ぶ」講師:熊谷君子さん



「まっさきに学ぶ」講師:近藤均さん



居場所ハウス

7/14(日)

① まっさき Web メール学習会 9:00～12:00

(ボランティアスタッフ参加者 14名/現地参加者 8名)

- ・「～～～@massaki.jp」のメールアドレスを発行し、Webメールの利用法を学んでもらった。参加者にはスタッフを含め、互いに自己紹介をし、同じメーリングリストを利用した。修了後は、各自メールアドレス記載の名刺を作成・配布し、継続した利用を呼びかけた。



まっさき Web メール学習会



まっさき Web メール学習会



講師の話聞きながら個別対応

② 末崎碁石地区観光 12:50～13:30

(ボランティアスタッフ参加者 14名)

- ・ボランティア参加者で、大船渡市末崎町の碁石地区の観光を行った。短時間ではあったが、穴通磯や碁石海岸、えびす浜周辺を車で回った。



穴通磯



えびす浜



えびす浜

③ 『気仙に学ぶ!』 (場所: 大船渡津波伝承館) 14:00～16:00

(ボランティアスタッフ参加者 14名・その他参加者 5名)

- ・「かもめの玉子」で有名なさいとう製菓中井工場(大船渡市赤崎町)に併設されている大船渡津波伝承館に伺った。施設内のパネル展示見学、映像上映とともに、館長の齋藤賢治さんより、当日の被災状況や津波の恐怖についてお話を伺った。



大船渡津波伝承館入り口



大船渡津波伝承館内展示パネル



さいとう製菓本社

KK²「共に考え、共に学ぶ」ボランティア「デジタル公民館まっさき」

平成 25 年度 7 月 活動

ボランティア・アンケート結果（参加者 14 名中 回答 12 名）

あなたの性別を教えてください。

男性	11
女性	1

あなたのメンバー区分を教えてください。

KK2 メンバー	5
Web 会員	7
一般	0

あなたの年代を教えてください。

20 歳未満	0
20～34 歳	4
35～49 歳	3
50～64 歳	4
65 歳～	1

今回のプログラム全般についていかがでしたか？

とてもよかった	2
よかった	9
どちらでもない	1
あまりよくない	0
よくない	0

「まっさきに学ぶ！ 居場所ハウス」についていかがでしたか？

とてもよかった	5
よかった	6
どちらでもない	1
あまりよくない	0
よくない	0

改善点やご意見があればご記入下さい（自由記入）：

- ・ 熊谷君子さんのお話は被災体験だけでなく、介護問題や地域コミュニティの課題などどの地域にも共通の課題について考えることができたので、とても有意義でした。居場所ハウスで、参加者同士交流できるとよりよかったです。（時間が遅いので難しいかも、ですが）
- ・ 熊谷君子さんが育ったまっさきについてもっと語って欲しかった。引きつづき居場所ハウスで飲みながら懇談できると良かった。
- ・ 聴講者間の温度差を感じた。人数が増えたことで、全体の雰囲気としてあまり盛り上がりなかったのが残念。
- ・ 熊谷君子さんに終始一貫お話していただき良かった。やや尻切れになったことが残念です。
- ・ 事前に、講師、講演内容をもっと知っておくと、講演の意図を理解しやすかったのではと感じた。居場所ハウスのことは、理解していたが、熊谷さんがどんな方なのか、事前知識が不足していたと感じる。
- ・ 話の内容は素晴らしかった。しかし、聞くだけなら映像でも、ドキュメントでもある程度理解できる。現地で行われるセッションとしては、じっくり議論の場を設けるべき。参加者の温度差から議論し難いが、時間が足りないのは最悪。その打開策として、幾つかの参加者との議論課題を設定して、それを講演者に応えてもらい方が良いのでは。立派な講演を感心して聞くのが目的ではないと思う。
- ・ 熊谷君子さんの話を聞いていて、末崎町はかなりしっかりしたコミュニティーが形成されているのだと思った。都会に住む我々も見習うところが沢山あった。私は同じアパートの隣の住人に挨拶こそするが名前も知らない。それが当たり前になっていることに疑問をもたなくてはならないのかなと感じた。

「気仙に学ぶ！ 津波伝承館」についていかがでしたか？

とてもよかった	5
よかった	5
どちらでもない	2
あまりよくない	0
よくない	0

改善点やご意見があればご記入下さい（自由記入）：

- ・ 移動時間に余裕が欲しい
- ・ 被災体験を具体的に伺うことができてよかった。時間がなく、上の階の見学ができなかったのが残念。お話の中に、従業員の解雇の話が出ていたが、当時はかなり経営者として苦労されたと思うので、そういった視点のお話も聞くことが出来ればよかった。
- ・ さいとう製菓さんをご商売が上手だと思った。したたかだ。収益も上げながら被災体験の伝承活動を続けていって欲しい。そういう常設館は重要だと思う。
- ・ 他のプログラムに比べ、整理された分かりやすいお話でしたが、質疑を含めもう少し深く伺いたかったです。
- ・ 講師への質問意見は、参加した者の義務だと思う。話者への礼儀！
- ・ 被災した方の実際の講演がリアルでよかった。この地域では、以前から自信がきたら津波を警戒する風習があったという背景が興味を引いた。有名な「かもめの玉子」の会社専務さんというのも、馴染みを感じて良い。さいとう製菓さんの被災した建物を事前に（伝承館に行く前に）見学できたらなお良かった。
- ・ 内容が、すごい事なのでともかく聞いたことが感動。伝承館の意義を十分に感じた。改善点としては、参加者の質問点を事前にまとめておいて、それに応えてもらったらどうか。
- ・ 斎藤館長より、震災のDVDを放映してもらい、体験談を聞かせて頂いた。東京の自宅で似たような映像を見たことがあったが、被災地の大船渡で当時の話を聞きながらみると、非常に生々しく感じた。

また参加したいと思いますか？

ぜひ参加したい	2
参加したい	9
どちらとも言えない	1

参加したくない	0
まったく参加したくない	0

ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのでご記入下さい。

- 参加者の皆さんがとても積極的に私が引っぱられる感じでした。何もできませんでしたが、勉強になりました。
- 今回は、はじめて参加させていただきましたが、とても楽しく活動することができました。事務局の方お疲れ様でした。最終日のあと時間がなくアンケートやふりかえりの時間がとれなかったのが残念。1日目にじっくりとふりかえりの会をしておいてよかったと思います。参加したボランティアの人達も講習会に参加いただいたみなさんもとてもよい雰囲気です。車のやりくりが大変そうでしたが、何とか効率的にできればよいですが、これもなかなか難しいですけどね。今回、参加していただいた方10名程度に対し、スタッフ総勢14名でバランス的にはちょうどよかったですが、これも毎回違いケースバイケースになるのだと思います。一番よいバランスは学生・社会人(20代、30代、40代、50代、60代)と世代がばらけるとうまくいくと他の団体でできたことがあります。(女性は少なめがいいみたいですが。)学生が2人くらいになると子供たちと体をつかって遊べていいかもしれません。Webメール講習、今回は講習会形式がはじめてのようですが、先生の講義はなかなかよかったので参加者の方にもメリハリがついてよいのではないのでしょうか。まっさきに学ぶ、気仙に学ぶもいずれもプログラムとしてはよかったです。地元の人のお話をきちんと聞く時間があるのは貴重です。
- 人数的に今回の14名はちょうど良いぐらいだという気がした(プログラムにもよるが)若い世代女性がもう2人くらい増えると良いのでは。3連休の時は3日目にオプション企画あっても良いかもしれない。Webメール学習会は良かった。次回もやってはいかがでしょう。
- 日程のわりにプログラムが多すぎるように感じました。割りきってスタディツアー、ボランティアどちらかの比重を高めた方が、バランスがとれるように思います。
- 【まっさきに学ぶ!】日本人の8割は病院で死に、在宅は2割と言われている。厚労省はここ1~2年急に「地域包括ケア」「看取りケア」などと言い出したが、都会では医療(医師・看護師・薬剤師)・介護の連携が乏しく、「在宅」には程遠い。熊谷さんの四半世紀の実績をお聴きし、都会より貧しく人口減少高齢化が進む地で、地域をあげた取り組みが粛々と行われていたこと、津波で跡形もなくなった高齢者施設の老人がいち早く安全な場所に避難できていること、に感動した。

【気仙に学ぶ!】1960年5月23日4時11分(日本時間)、南米・チリでマグニチュード9.5という大規模地震が発生、発生後22.5時間後に、最大大船渡湾で5.7m 広田湾で6.2mの大津波が日本を襲い、甚大な被害が発生しました。この時作られた大船渡港の湾口防波堤は、3.11の津波第一波で跡形もなく壊れ、防波堤への人々の過信を打ち砕きました。このことから『自然は人間の手に負えない』を悟り、自然との共生を押し進めなければならないと確信致しました。

- 今回2回目の参加で様々なことを学べたり、一人の参加者として東北の方々に少しでもお役に立てたのではないかと考えております。また、ぜひ9月にも参加したいのでお会いできることを楽しみにしております。
- ボランティアという過酷、奉仕のイメージをあまり感じない。交通(レンタカー手配と運転手付き)、食事、風呂、寝袋など手厚く準備されているので、ちょっとした体験学習旅行に感じた。食事も十分な質と量、夜はお酒の用意まで。帰りは居酒屋(非公式)までお世話になりっぱなし。参加者としては、負担(様々な意味で)が少なく、準備(ITよらずボラ、持ち物、食事、飲み物)もあまり考えなくてよく、簡単に参加できるので、ハードルが低い。(ボランティアという奉仕の精神を強く持って参加したら、物足りないのでは?)お膳立てが豪華。奉仕した充実感は薄い。

「共に」のスローガン通りではあるけど。。

「学ぶ」をやった後に、意見を交換する時間を設けてもいいのでは。(今のままでは、寝てても問題なし)MTGで「共に考える」機会があると、意識が高まるし、夕飯食ってるだけじゃマズイと気づくはず。運営側は、参加者がお客さん?なので、優しくエスコートしてくれるが、参加者は自らの意思で、ボランティアに参加しているので、少々不便、苦勞は覚悟しているはず。(苦情にまではならない?)「共に苦勞し、共に学び、共に考える」のいいかも。

今回、KK2 関連社員として、一般参加者よりも運営側に立つ意識で参加した私でも上記に感じるの、一般の方は、なおさら楽しんだのではと推察します。下記は案です。
 ・現地の方のラジオ体操に参加(今回は、やっているところを見せませんが)
 ・体育館で卓球大会(もっと子どもと一緒に遊びたかった)
 ・公民館を大掃除(体育館、トイレ、食事)なかなか綺麗でした。定期的に掃除されている様子ですが)
 ・より多くの住民に参加頂けるよう、広報に力を入れる。(仮設住宅に投函)

- 1) 参加者協働型の運営を理想と考えているので、複数回参加者は、自分のテーマとの組合せをいろいろ提案させ、その組合せを運営に考えると思う。(そのための試案を以下に書きます)事前勉強会を、寸前では上記のやり方には向かない。1週間くらい前が良い。私の事例で、(1)前日元氣村訪問を自分のオプションとした。(2)どこ竹リーダー実技講習も「自分のオプション」の位置づけでもある。三

鷹での水鉄砲の竹筒採取を実現できたこともそれ。こういう各自のオプション、を含めると收拾がつかない恐れがありそうだが、実はない。

2) このイベントの狙いを「学ぶ」から「創る」の意義を含めてはどうか。新しい参加者に学ばせるだけだと、現地の人は「お客対応していればよい」となる。一緒に作る目標を持ちたい。メタ発想の出来る現地人間を運営に入れる必要がある。(その意味で、事務局が事前折衝しているとおもうが、「運営」という観点で接していないと思う。ICT 講習(メール講習)は極めて重用だが、何を狙っているのかが、何も発信されていない。まさき地域の「見える化」、復興の推進の一助になる、現地の情報化運営(とくにコアメンバーへの支援)を大枠で、議論しておくのが良いと思う。数値的な目標を設定すると、そのことが明確になると思う。まさき地区の PC メールアカウント数、アクセス数、コミュニティ数、ブログ発信数など。最終的には、優秀でスタッフが活動できる「自前のコミュニティビジネス」を作ることだと思う。

- ・ 活動全般を通して、一方的な提供ではなく、お互いに提供する姿勢の活動であったことがとてもよかったと思います。ただ IT サポートの活動では、無料での講習会であることから、受講される方が恐縮してしまうところがあるように感じました。かえって敷居が高くなっているかもしれません。賛否あるとは思いますが、お茶やお菓子持ってきてもらうとかあるといいかもです。あとは一緒に活動させて頂いた事務局の皆さんが、我々ボランティア参加者のことを懸命に考えていただいたことで、とても快適かつ本当に楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。

- ・ 今回このボランティア活動を通して、ボランティアのメンバーや末崎の皆さんから多くのことを学ぶことができました。1 日目の「PC ネットよろず相談」が終わった後のミーティングでは「お年寄りだけでなく子どもにどうやって興味を持ってもらうか」「まずは自前 PC のデスクトップを整理」など数多くの意見が出てきた。メンバー全員が細かい部分に気が付き、高い意識を持って取り組んでいる様子が伺えた。私もそれらのことを意識して 2 日目活動に取り組んだ。また、よろず相談に来てくださった小松さんからは、PC 操作をお手伝いさせて頂いた後、大船渡市、陸前高田市の写真や動画を見せてもらいながら、食文化や方言などをレクチャーして頂いた。

末崎でのボランティア活動を通して、末崎の人たちは自分の家族、深い友人以外の人たちのことをよく知っていて、すごく他人に興味・関心があると感じた。(小さな地域だからかもしれないが) 都会に住む人々は仕事、趣味、自分の家族のことで精一杯で、他人(たとえば隣の住人)のことを考える余裕がない。仕事上繋がりのある人、趣味の合う人、年齢の近い友人とはよく連絡を取ったり興味をもったりするが、それ以外の人間関係はほとんどない。情報もない。末崎の人たちと会うまではなかなかそういうことを考えることはなかった。自分が「他人に興味を薄い」など思ったこともなかった。

これから「コミュニティ」とか「絆」とかそういったことについても考えていこうと思う。

【意見】スケジュールが結構タイトだった。海岸やお店など町を見て回る時間がもう少しあればと思った。

7月13日(土) 21:45～ 反省ミーティング概要

- ・ 今回は PC・ネットよろず相談はマンツーマンで対応ができてよかった。
- ・ デスクトップやお気に入りなど、以前のボランティアスタッフが増やしてしまっていて整理できていない PC があった。整理し分かりやすい状況にしてあげるべき。
- ・ ソフトウェアのアップデートの取り扱いなどガイドラインを設けたほうがよいのでは。
- ・ 人数多くなった時の対応。似たようなニーズをまとめるなどの対策が必要か。
- ・ 現地参加者へのアンケートのボリューム多すぎる。
- ・ 名簿管理しない現状ならば、無理に来場者に記名してもらうのはやめたほうが良いのでは。(竹とんぼに関しては、事故対応もあるので名前を聞く必要がある)
- ・ 名前記入は名札だけでも良いと思う。
- ・ 竹とんぼ実技講座は、連絡が付き参加が決まっていた人しか来ず、確定はしていないが来て欲しいなと考えていた人が来ない状況だった。現地講師が、人に呼びかけ仲間を増やしていくことはまだできない。
- ・ 竹とんぼ講座や居場所ハウスでは、スタッフ側の私語が目立った。
- ・ 活動の認知度が低い。他団体のイベントが有るところにこちらから顔を出して、勧誘することが必要では。
- ・ 竹とんぼ活動は「教えて楽しい」を伝えるフェーズは終わって現地の人達が活動を広げていくフェーズに。ただ、次のリーダーを集める段階には進んでいない。
- ・ 互いにどのような活動をしていきたいかを議論する場を増やしたい。居場所ハウスで飲み会を!

KK²「共に考え、共に学ぶ」ボランティア「デジタル公民館まっさき」

平成 25 年度 7 月 活動

現地参加者アンケート結果（22名中 回答数21名）

PC・ネットよろず相談	どこ竹リーダー育成実技講座	まっさき Web メール学習会
7月13日(土) 10:00-12:00、13:00~16:00	7月13日(土) 9:30-12:30	7月14日(日) 9:00-12:00
大人 11 名 子供 8 名	受講 4 名 (内ボランティアスタッフ1名) ボランティアスタッフ講師 2 名 現地サポーター 4 名	大人 8 名

あなたの性別を教えてください。

男性	12
女性	9

あなたのメンバー区分を教えてください。

KK2 メンバー	0
Web 会員	2
一般	19

あなたの年代を教えてください。

20 歳未満	0
20~35 歳	0
35~49 歳	3
50~64 歳	2
65 歳以上	16

現地活動(PC・竹とんぼなど)、衛星中継(寄席、音楽会)への参加回数を教えてください。

初めて	5
2回~4回	6
5回以上	5
10回以上	4
未回答	1

お住まいはどちらですか？

末崎市内	14
------	----

それ以外	6
未回答	1

参加プログラムを教えてください（重複回答）

PC・ネットよろず相談	11
どこ竹リーダー育成実技講座	6
Web メール学習会	9

本日の参加プログラム全般についていかがでしたか？

とてもよかった	17
よかった	3
どちらでもない	0
あまりよくない	0
よくない	0
未回答	1

また参加したいと思いますか？

ぜひ参加したい	15
参加したい	6
どちらとも言えない	0
参加したくない	0
まったくしたくない	0

今回のプログラムを何で知りましたか？（重複回答）

KK2のWebサイト	0
メルマガ・DM	1
看板・チラシ	0
友人・知人経由	5
デジタル公民館まっさき Web サイト	4
前回参加した	5
Facebook	0
館報まっさき	6
その他	2

（その他：「ボランティアスタッフからの電話」2件）

要望・苦言・褒め言葉など、何でも結構ですのでご記入下さい。

- ・ 今回で2回目です。前回は今回も大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 今回初めての参加でしたが、大変親切にしてくださいわかりやすく良かったです。PC教室では出来ない1人対1人で対話が出来て大変助かりました。
- ・ いつも有りがたいです。分からない事が出来て帰るのがいつもうれしいです。
- ・ 初めて参加させて頂き、疑問に思っておりましたこと（メール・ファイル作成・住所録）が短時間で一気に見通しがつき、嬉しいです。今日は本当に良い日でした。明日も参加させていただきますので、よろしくお願い致します。
- ・ 今回初めてメール送信を覚えました。使用したいと思います。また家族へのメール送信も自信ができました。驚くでしょう!!楽しみです。
- ・ 大変お世話でした。
- ・ 大変勉強になりました。今後利用します。
- ・ メール作業覚えにくくてすみません。でも何とか出来そうです。有難うございました。次回も是非参加いたしたいです。よろしくお願い致します。
- ・ 1回だと自分で運営する場合、不安です。まさきの方の活動をできるだけ見学して勉強したいと思います。ありがとうございました。

ご自宅でパソコンは持っていますか？

持っている	18
持っていない	0
未回答	3

ご自宅にインターネット回線はありますか？

ある	18
ない	0
準備中	0
未回答	3

普段パソコンでしている事、今後覚えたい事を教えて下さい。（重複回答）

	している事	覚えたい事
インターネットの閲覧	8	3
メール	4	6
Facebook	0	1
ブログ	2	2
ホームページ作成	0	3
文書作成	3	2
写真保存	4	3
計算ソフト	3	0

（その他：「している事：短歌清書・通知文書作成・各種記録 覚えたい事：メール送信」1件）

今後、私はこんなことがしたい、または地域にしてあげたいと思っていますか？（重複回答）

パソコンの使い方を知らない人に教えられるようにする	5
パソコンが使えない人が調べてほしいことを代わりにインターネットで検索する	3
パソコンが使えない人にネット通販で生活必需品を代わりに（一緒に）購入する	3
ブログや Facebook で仲間たちや知り合いと情報交換する	5
インターネット電話 Skype（スカイプ）で遠くはなれている人と電話やテレビ電話をする	5
わかめなどの地域の名産品や教育文化を全国に P R する	2
町を離れた人に情報を発信する	7
高齢者に話を聞いて紹介する	2